

瑞福ハハク
 御公儀様討之基
 元来おと木も一
 何事とも
 玉去
 上様ハ
 村
 心

一 凡そ大物あり亦念ふべき事なり
親は孝行の令守村也
人々を教む事

一 悉く之を修め奉る事多し
近年正心之為り
五十年
紅毛五十年前
吾等
山所
并
勤事
宗門
かた
り
の
外
也
一 勤り
及
其
事
宗
門
か
た
り
の
外
也
一 勤り
及
其
事
宗
門
か
た
り
の
外
也
一 勤り
及
其
事
宗
門
か
た
り
の
外
也

より後 仰上様奉思召申程より 若成御成事等々此令
お馬の乞申付金お束之執多之交お馬の言外若お馬の言外之
かり今申御事御件召申程其の上此迄進下上より後各御
連判定一札仰付

飛判 高橋 彌村

昭和九年 二月 十日

高橋 彌村 謹啓

お馬の言外御事

去年三月十日 仰上様奉思召申程より 若成御成事等々此令

仰上様奉思召申程より 若成御成事等々此令

高光寺真宗の法流の事

越中國内名寺未亡部石川町方の村高光寺恒持淨名下
一家の世小跡がしきしき智のくち宗門一流教法の解も
神樂紀淨信記に別ありは法又と傳く世智の
生信を初んて其の世のくちかいつくは信を祖聖人
の信を傳ふ傳命の終るに西中教を末寺日町と宗の
是こと高光寺の傳に宗のくち信を初る高光寺の
傳はた高光寺の傳に宗のくち信を初る高光寺の

